



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21



愛称・あいちゃん

発行 金沢区青少年指導員協議会

編集 広報部会

金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所 地域振興課内

電話 (045) 788-7805 番

FAX (045) 788-1937 番



スクールゾーン キャンペーン



11月7日(土)に横浜市立高舟台小学校の学区でスクールゾーンキャンペーンを行いました。このキャンペーンは、スクールゾーン周辺の住民の皆さんに対して「青少年見守り活動」の周知・啓発を行うことで、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちを見守ることの機運を高め、活動につなげていくことを目的として毎年行っています。

校庭で出発式を行った後、青少年指導員、PTA、学校教職員、地域の方々、子どもたちの総勢76人が6コースに分かれ「子ども達を地域で守ります・青少年見守り活動」と書かれたのぼりを先頭に通学路を歩きました。途中、

行き会った人へ声掛けをし、啓発チラシを手渡しました。また、通学路に接した家庭のポストにチラシを投函して、「青少年見守り活動」への協力依頼、啓発活動を行いました。一緒に参加した子どもたちも先を競ってチラシを投函するなどキャンペーンに積極的に参加してくれました。

このように、より多くの方々子どもたちの安全・安心な環境を見守ってくださるよう依頼・啓発するスクールゾーンキャンペーンを今後も継続していきたいと思っています。

全市統一行動キャンペーンを実施

11月8日(日)、全市統一行動キャンペーン活動を実施しました。

市民の青少年健全育成に対する意識を高めるため、「子ども・若者育成支援強化月間」である11月に行われるこのキャンペーンは、全青少年指導員が、各地域の駅前や商業施設周辺で、青少年健全育成活動の啓蒙チラシを配布します。

当日はあいにくの雨。限られたスペースでの活動となってしまいましたが、子どもたちを地域で見守りましょうという指導員のよびかけに足を止め、説明を詳しく聞かれる

方もいらっしゃいました。指導員達の心配も杞憂に終わり、用意されたチラシはわずか30分ほどで配り終わりました。

子どもたちを地域で見守り育てると意識が市民のみなさんに広がることを期待するとともに、青少年指導員としての活動の意義を感じることができた活動となりました。



イラストを募集しました!

全市統一行動キャンペーン活動で配布したチラシのイラストは、キャンペーンに先立ち「子どもはみんな社会の子」をテーマにイラストを募集し、応募されたものです。

区内からは中学生の15作品の応募があり、まず、区協議会で選考を行い、その中から2点を横浜市青少年指導員連絡協議会に推薦しました。1つの作品は最終選考まで残ったと報告がありました。(選考されていれば、チラシ3万枚に印刷されました。)

区協議会では、応募いただいた中学校をそれぞれ訪問し、金沢区青少年指導員協議会賞として表彰するとともに、横浜市青少年指導員連絡協議会からの感謝状を届けました。



西柴中学校
美術部の皆さんの作品



並木中学校
芦垣琉南さんの作品

いきいきフェスタ

10月17日(土)に「第41回金沢まつり いきいきフェスタ」が海の公園で行われました。

前日からの雨が朝まで続き開催が心配されましたが、フェスタが始まる前に雨は上がりました。金沢区青少年指導員協議会では、今年も子どもたちのためにペンシルバールンコーナー、折り紙コーナー、工作コーナーを設けました。今年は青少年指導員全員が名札を付けることとし、子どもたちが読みやすいようにひらがなで名前を書きました。中には苗字ではなく下の名前を書いている人もいてそれぞれの個性を感じました。

ペンシルバールンコーナーでは、プードル犬や白鳥など動物の形を作るほかに「アンパンマン」の形も登場しました。子どもたちにとっても人気で早い時間帯で持ってきた風船は終了してしまいました。折り紙コーナーでは「イルカ」を作りました。なかなか難しい折り方でしたが、苦勞してできあがったものはまさに「イルカ」で子どもたちも喜んでいました。工作コーナーのメニューは、昨年に続いて牛乳パックとストローで作る「竹とんぼ」、紙皿に自分で絵を書いて作る「フリスビー」、割りばしと輪ゴムで作る「割りば



してっぼう」、今年新たに新聞の折り込みチラシで作る「紙てっぼう」。この「紙てっぼう」はチラシを折り紙のように折っていき、折った紙の端を手で持って勢いよく振ると「ぱーん!」と大きな音がするので「紙てっぼう」と言います。どのコーナーも人気があり、子どもたちは一生懸命に工作をしていました。

午後になると雲の切れ目から日差しがのぞくようになりました。海上では消防ヘリコプターによる水難救助訓練が行われていました。ヘリコプターから隊員がロープ降下をし、海で溺れている人を抱きかかえて、再びヘリコプターに上がって行くシーンを間近で見ることができ、テレビ画面で見るとよりもヘリコプターの音や救助に当たる隊員の迫力に驚き、滅多に見られない経験ができました。

青少年指導員として子どもたちと交流でき、また区民としても楽しく参加できた「いきいきフェスタ」でした。



どんど焼きへの協力と…

1月16日(土)、第21回どんど焼きが海の公園で行われ、私たち青少年指導員協議会はお飾りの受け付けや会場内の巡視などを行い開催に協力しました。

当日は晴天に恵まれ、多くの方が正月飾りなどをもって来られました。火入れは午後1時ですが、早い時間から人が集まり、一緒に焚き上げる書初めや願い事を書いたり、凧つくりをしたり、木遣・お囃子・獅子舞披露を見たりと、家族や地域の仲間との時間を過ごしていました。

時間になり火入れが行われると、色々な思いが天へ向けて焚きあげられました。あらためて一年の無病息災を願いました。

その後、新しい企画の「浜の綱引き大会」が行われました。私たち青少年指導員も「チームあいちゃん」を作り参加しました。「あいちゃん」とは、横浜市青少年指導員連絡協議会のシンボルマークのことです！

8チームが参加し、トーナメント形式で行われ、なんと！優勝してしまいました。多くの応援をいただき、つつい力が入ってしまったようです。(後日談では、皆、数日後に筋肉痛に襲われたとか…)

金沢地区の青少年指導員は、区協議会とは別に地区の一員として参加し、餅つきを行っています。これからも青少年指導員として、地区を盛り上げていくような活動を皆で行っていきましょう。



平成27年度

表彰者のご紹介

多年にわたり、積極的な青少年育成活動を行っていただいている指導員の方々が、日頃の活動に対して表彰を受けられました。おめでとうございます。

○神奈川県青少年指導員表彰

・内野 千秋さん(六浦西地区)

青少年指導員活動を通じ、沢山の友人や、子どもたちと知り合いました。今後も青少年の育成の地域活動を、楽しみながら協力していきます。



・福島 盛治さん(六浦地区)

最初の一歩を踏み出して早20年、青少年指導員の仲間、数多くの地域の人達との出会いを重ね、私も生かされ支えられました。感謝です。



※平成 27 年 11 月 15 日に開催された第 48 回神奈川県青少年指導員大会（社のホールはしもと：相模原市）において表彰式が行われました。

○横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

◆20 年

- ・福島 盛治さん (六浦地区)
- ・山崎 尚人さん (六浦地区)
- ・芳垣 隆司さん (釜利谷地区)

◆15 年

- ・青木 美佐子さん (金沢中部地区)

◆10 年

- ・清水 純子さん (富岡第二地区)
- ・宮野 明雄さん (金沢東部地区)
- ・堂本 朋子さん (六浦西地区)
- ・前田 純一さん (六浦西地区)
- ・鈴木 浩二さん (六浦西地区)
- ・富永 信一郎さん (釜利谷地区)

○神奈川県青少年育成活動推進者表彰

- ・富樫 法仁さん (富岡西能見台地区)
- ・小谷 徳子さん (シーサイドタウン地区)

○金沢区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰

- ・奥田 勝美さん (シーサイドタウン地区)

地区だより



猿島探検に行こう！ところが？

金沢東部地区

10月25日(日)金沢東部地区では、青少年指導員と行く猿島探検ツアーを開催しました。

当日は雲ひとつない青空で、絶好の行楽日和。地域の子どもたちが16名参加しました。子どもたちに猿島でのびのび遊んでもらうためのこの企画。期待も高まります。ところが、前日から続いた強風のため、猿島への連絡船が欠航に。残念ながら猿島探検は諦め、横須賀中央駅周辺の公園に行くこととなりました。

まずは、記念艦三笠を見学。初めて見学する子どもたちもいて、皆思い思いに船の中を見て回っていました。その後は三笠公園でお弁当。すると、三笠公園から見える米軍横須賀基地から賑やかな音が聞こえます。当日は「よこすかみこしパレード」というイベントが開催されており、米軍基地が開放されていました。そこで、米軍横須賀基地に入場してイベントの様子を見学することに。普段は入れない基地内の

アメリカの空気を楽しみました。最後はヴェルニー公園まで歩き、ヴェルニー記念館を見学。旧横須賀製鉄所にあった国内最古のスチームハンマーを見たり、パスカルの定理や発電の仕組みを学べる体験装置を楽しみました。

全て終えて能見台駅に戻ったのは16時頃。予定変更とはなりましたが、結果としていろいろなものを見ることができて、子どもたちは満足した様子でした。そして、来年こそは猿島探検をしようと約束して解散しました。この約束は是非とも実現したいです。



芸能祭

六浦東地区

10月31日(土)第11回芸能祭が、六浦東社会福祉協議会・地域子育て会により瀬ヶ崎小学校体育館にて開催されました。例年、多くの方が参加する芸能祭であり、今年は約200人の参加者が集まりました。

プログラムは、盆踊り・吹奏楽・大道芸・ピアノ弾き語り・篠笛・日本舞踊・かっぽれ・詩吟・アンサンブル・箏演奏・オカリナアンサンブル・フラダンス・民謡で構成され、小学生から大人まで幅広い年代の方々が、得意とする演目を披露されました。内容をいくつか紹介しますと、六浦中学校吹奏楽部によるディズニーメドレー、エルクンパンチェロの演奏や、金沢高校吹奏楽部1年生による名探偵コナン・メインテーマ、金沢吹奏楽団による「恋のバカンス」「赤とんぼ」などは聞き応えのある素晴らしい演奏でした。また、詩

吟を吟じてくれた小学生たちは、マイクを使わずに大きな声を会場いっぱいに響かせ、日頃の訓練の成果を存分に発揮していました。

私たち青少年指導員は会場整備などの協力をしながら、出演者の発表を間近で聞くことができました。この芸能祭は地域のつながりを感じることができる有意義な時間であり、今後も協力・応援をしていきたいと思いました。





第38回 新春百人一首大会 開催される 釜利谷地区

1月11日(月・祝)に釜利谷地区の青少年指導員が主催する「第38回 新春百人一首大会」が開催されました。本大会は、地区にある釜利谷中学校、金沢中学校、西金沢中学校から合計9チーム・45人が参加し、トーナメント方式で優勝、準優勝、第三位を競いました。

競技は5人でチームを編成し、双方に50枚ずつ配られた札が早く無くなったチームが勝者となる「源平合戦方式」です。本格的な百人一首のルールと違ってローカルルールを採用し、誰でも参加しやすくなっています。神奈川県カルタ協会会長で横浜隼会所属の宮田直幸先生が進行役としてルール解説、ゲーム中のマナーなどを指導してくださり、また、読み手は高文連全国小倉百人一首かるた専門部競技審判委員会委員の永吉寛行先生に行っていました。

抑揚のある独特の読み手の上の句の二言・三言、時には一言を聞いただけで、札を取りに行く手が鋭く伸びる様は、殺気がかすかに感じられ、ゲームと言うよりもウォーズに近い様相でした。ゲームの途中では、「集中ッ!」とか「ドンマイ!」「さあ~これからだよ!」などと、チーム員同士が声を掛け合う姿は、友情も含めてチームワークの大切さを強く感じた瞬間でした。

結果は、優勝：金沢中学校Eチーム、準優勝：西金沢中学校Cチーム、第三位が金沢中学校Bチームでした。それぞれに楯、賞状、記念品などが授与され、大会委員長である青少年指導員の芳垣地区会長からそれぞれのチームにカップが手渡されました。他のチーム全員にも参加賞が配られ、締まった顔が一気に笑顔になり和んだ中で閉会となりました。

芳垣地区会長の閉会のあいさつでは「38年も続けてこられたという感慨深いものがあり、再来年の40回では記念の大会としたい」と抱負を述べて締めくくりとなりました。釜利谷地区の青少年指導員が全員揃って、会場設営や記念品の準備等の大会運営を行い、寒い日ではありましたが汗を流すほどでした。何よりも無事に終了したことを嘖みしめると同時に、次回・次々回の開催に向けて頑張らねば!と、心を新たにしました。



ウォークラリー大会

六浦西地区

11月1日(日)に、第27回六浦西地区ウォークラリー大会が、六浦西地区青少年指導員協議会・大道中学校区PTAの共催、地区町内会連合会・地区社会福祉協議会の後援により開催されました。

大道中学校をスタートし侍従川沿いに歩き、六浦駅前から朝比奈切通・熊野神社を経て、六浦西第二公園(湘南八景)をゴールとします。チェックポイントごとにクイズやゲームがあり、通過シールをもらいながら進みます。

小中学生の家族や仲間、野球・サッカーのグループ等、老若男女の合計36組117人の参加者が、それぞれコマ図を頼りに歩き、主催者が事前に下見を行い設定した「基準タイム」にどれだけ近い時間でゴールするかを競う大会です。今回は、大道中学校バスケットボール部員21人が6チームで参加し、スピード感や若さといった活気を感じられる大会に

なったことが印象的でした。

ゴール後は参加者全員に参加賞が渡され、PTAの方々が作った美味しい豚汁が振る舞われました。また、閉会式では上位5組、その他の各賞が表彰されました。

当日は晩秋の好天気恵まれ、PTA・スポーツ推進委員・民生委員・青少年指導員OB・各地区の役員の方々など、多くの協力を得て大会を無事に終えることができました。



人物紹介



前田純一さん(六浦西地区)

○バルーン作り一筋に

私が青少年指導員になり早10年になります。主に行事部に属して活動し、キャンプやいきいきフェスタへ参加しています。活動の中ではペンシルバルーン(風船)や割りばしでつぼうなどを担当しています。

当地区では、例年11月にウォークラリー大会が開催されます。今回実施した大会でも競技のゴール後から閉会式までの間に参加者とバルーン作りをしました。

私とペンシルバルーンの出会いは、息子が大学生の頃、野毛大道芸にジャグリングで参加し、その時に隣でバルーンアートを行っていたのを見てからです。自分でもできるのではないかと思い、習い始めて8年が経ちます。

バルーンは子どもたちでも簡単に作れますので、各地域や自治会町内会などの行事において、バルーンアートを使い子どもたちと一緒に楽しく遊ぶことができます。皆さんも子どもと交流する道具にでももらえたら良いのではないかと思います。今後も地域の子どものために、仲間と協力して楽しく頑張っていきますのでよろしくお願ひします。

編集後記

今号からカラー印刷でお届けすることができました。今まで以上に読みやすい紙面、わかりやすい記事で青少年指導員の活動を紹介していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。